

強震応答実験室利用報告書

1. 実験名称

免震エキスパンションジョイントカバー強震応答実験

2. 実験場所

京都大学防災研究所 強震応答実験室

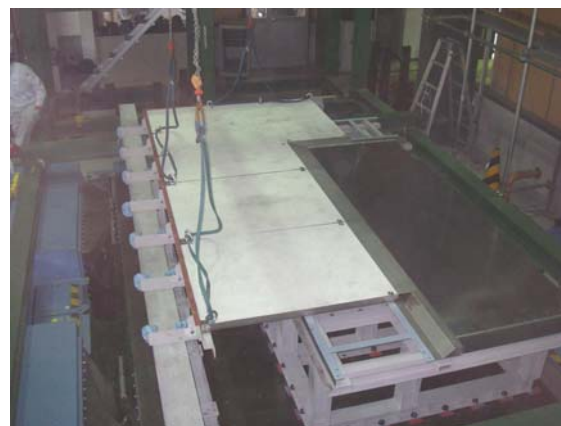
3. 実験目的

免震エキスパンションジョイントカバーに強震応答実験装置をもちいて、正弦波加振ならびに地震応答波加振による可動性能検証をおこなうことで、より現実に即した免震エキスパンションジョイントカバーの製品開発の向上を図り、今後発生すると考えられる地震時に十分に機能が発揮される免震エキスパンションジョイントカバーを提供する。

4. 実験内容

強震応答実験装置に免震エキスパンションジョイントカバーを設置し、実際の設置状態を再現するため片側を強震応答実験装置外部の仮想躯体に取付て、免震エキスパンションジョイントガイドラインの振動台試験の内容を考慮して、適切に加振の方向、振幅、周期を設定した正弦波加振ならびに地震応答波加振の入力をおこない、免震エキスパンションジョイントカバーの性能特性の把握検証を行った。

写真1:床・壁・天井 免震エキスパンションジョイントカバー 写真2:床部 免震エキスパンションジョイントカバー



5. 実験で得られた成果

今回の実験で確認できた免震エキスパンションジョイントカバーの性能特性は、地震時に損傷することなく安全性を確保した免震エキスパンションジョイントカバーの構築に役立ることができると確認できた。この実験で得た性能特性を今後の製品開発にも有効に採り入れ、地震時に十分に機能が発揮される免震エキスパンションジョイントカバーを提供できる。

以上